


```
READY
STATUS
KEQ562111 JOB A79999K#(TSU02290) IS EXECUTING ON THIS TERMINAL ....①
KEQ561921 JOB A79999KA(JOB01836) IS WAITING FOR OUTPUT ....②
KEQ561971 JOB A79999KB(JOB01853) IS WAITING FOR EXECUTION ....③
```

①は自セッションです。②は出力待ちのジョブです。③は実行待ちのジョブです。従って、②③のようなジョブがある場合は出力または消去する必要があります。このようなジョブが翌月に出力されると翌々月に請求されますので注意して下さい。上記の例の場合次のように入力して出力または消去します。③のように実行待ちのジョブは出力できませんので CANCEL コマンドで消去します。

```
READY
CANCEL A79999KA(JOB01836) PURGE .... 出力せずに消去します。
CANCEL A79999KB(JOB01853) PURGE .... 実行待ちジョブを消去します。
```

b. L P O U T (プリンタ出力用コンソール) による確認と対処方法

センター2階受付横またはオープン室に設置されたNLP; CLP横のコンソールへ行き、登録番号とパスワードを入力する。ジョブがある場合は“O”(出力)または“D”(消去)を入力する。

4. ジョブの負担金キャンセル

ジョブの負担金キャンセルは、科学研究費による利用で利用期限が1月28日(日)のものは1月31日(水)迄に、利用期限が2月20日(火)のもの及び受託研究費による利用のものは2月22日(木)迄に、当該計算結果を添えて2階受付又はシステム運用掛にキャンセル依頼を行ってください。

なお、連絡所からの利用者で上記期日までにキャンセル依頼が間に合わないと思われる方は、あらかじめシステム運用掛までご連絡ください。

5. 利用負担金の請求

科学研究費による1月分の利用負担金の請求は2月初旬に、2月分は2月末に請求処理を行います。

なお、上記研究による利用での利用負担金は、校費等での振替払いはできませんので利用にあたってはご注意ください。

システムで行っている予算管理では、予算(当初の利用予定金額-実利用金額)が1円でも残っていればセッションあるいはジョブを受け付けます。従って、結果的に予算オーバーとなる場合がありますので十分ご注意ください。

6. データセットの取扱い

利用期限切れとなった登録番号のデータセットは、利用期限の翌月の8日に消去しますので、必要なデータセットは各自で保存処理を行ってください。

なお、他登録番号(校費課題など)に移行するデータセットはアクセス権の設定が必要です。
MSPのデータセット ADDSD, PERMIT コマンドで他登録番号に ALTER 権(リネームが可能)を与える。

U X P のデータセット 他登録番号でアクセスできるように chmod コマンドで
READ 権 r (ディレクトリは検索権 x も) を与える。

(システム運用掛 内線 2 5 1 7)

2. 平成7年度及び平成8年度利用申請受付のお知らせ

I. 平成7年度利用申請の受付

本年度の利用申請(新規・追加)の受付期限は、2月29日(木)までです。なお、科学研究費による利用申請(新規・追加)の受付は、1月31日(水)で締切ります。

II. 平成8年度利用申請の受付

1. 継続申請について

(1) 九大センターを「所属センター」としている場合

平成7年度に九大センターを所属センターとしている利用者には、「計算機利用申請書(継続用)」を1月下旬に送付しますので、引き続き利用を希望される方は、継続用申請書の説明を熟読の上、2月1日(木)から3月11日(月)までの間に九大センターで継続手続きを行ってください。

(2) 九大センターを「所属センター」とし、他センターを「第二センター」としている場合

上記(1)の継続の承認をうけたあとに、MSPの「SINSEI」コマンドで3月21日(木)までに第二センターへ継続手続きを行ってください。なお、東大センターは3月7日(木)までです。

(3) 九大センターを「第二センター」としている場合

所属センターで継続の承認をうけたあとに、所属センターの用意したコマンドで3月21日(木)までに九大センターへ継続手続きを行ってください。

(4) 九大センターのU X Pシステムを継続利用する場合

~~汎用コンピュータの更新に伴い、九大センターに継続申請を行うと、自動的にU X Pに登録されるようになりますので、「SINSEI」コマンドでの継続手続きは必要ありません。~~

2. 新規・追加申請について

平成8年度新規・追加利用申請の受付開始は平成8年3月15日(金)からです。

なお、九大センター及び他センターの申請種類別受付期間は、次のとおりです。

九大センター計算機利用申請（種類別）受付期間一覧表

申請種類別	所属センターとしての受付期間	第二センターとしての受付期間
平成7年度新規・追加	～H8. 2. 29	～H8. 2. 29
“ 変更・取消	～ H7年度最終運用日	～H7年度最終運用日
平成8年度への継続	H8. 2. 1～H8. 3. 11	H8. 2. 1～H8. 3. 21
平成8年度新規・追加	H8. 3. 15～	H8年度運用開始日～
“ 変更・取消	H8年度運用開始日～	H8年度運用開始日～

他センター計算機利用申請（種類別）受付期間一覧表

センター名	申請種類別	所属センターとしての受付期間	第二センターとしての受付期間
北大 センター	H7年度新規・追加	～H8. 3. 29	～H8. 3. 29
	“ 変更・取消	～H8. 3. 29	～H8. 3. 29
	H8年度への継続	H8. 2. 1～H8. 4. 15	H8. 2. 1～H8. 3. 21
	H8年度新規・追加	H8. 3. 1～	H8. 4. 1～
東北大 センター	“ 変更・取消	H8. 4. 1～	H8. 4. 1～
	H7年度新規・追加	～H8. 2. 29	～H8. 2. 29
	“ 変更・取消	～H7年度最終運用日	～H7年度最終運用日
	H8年度への継続	自動継続	H8. 2. 1～H8. 3. 21
東大 センター	H8年度新規・追加	H8. 3. 11～	H8. 4. 1～
	“ 変更・取消	H8. 4. 1～	H8. 4. 1～
	H7年度新規・追加	～H8. 1. 30	～H8. 2. 8
	“ 変更・取消	～H7年度最終運用日	～H7年度最終運用日
名大 センター	H8年度への継続	H8. 1. 22～H8. 2. 20	H8. 1. 22～H8. 3. 7
	H8年度新規・追加	H8. 3. 4～	H8年度運用開始日～
	“ 変更・取消	H8年度運用開始日～	H8年度運用開始日～
	H7年度新規・追加	～H8. 2. 29	～H8. 2. 29
京大 センター	“ 変更・取消	～H8. 3. 28	～H8. 3. 28
	H8年度への継続	H8. 2. 1～	H8. 2. 1～H8. 3. 21
	H8年度新規・追加	H8. 2. 15～	H8. 4. 1～
	“ 変更・取消	H8. 4. 1～	H8. 4. 1～
京大 センター	H7年度新規・追加	～H8. 2. 29	～H8. 2. 29
	“ 変更・取消	～H7年度最終運用日	～H7年度最終運用日
	H8年度への継続	H8. 2. 1～H8. 3. 8	H8. 2. 1～H8. 3. 21
	H8年度新規・追加	H8. 3. 11～	H8年度運用開始日～
京大 センター	“ 変更・取消	H8年度運用開始日～	H8年度運用開始日～

阪大 センター	H7年度新規・追加	～H8. 2. 29	～H8. 2. 29
	” 変更・取消	～H7年度最終運用日	～H7年度最終運用日
	H8年度への継続	H8. 2. 1～H8. 3. 21	H8. 2. 1～H8. 3. 21
	H8年度新規・追加	H8. 3. 1～	H8年度運用開始日～
学情 センター	” 変更・取消	H8年度運用開始日～	H8年度運用開始日～
	H7年度新規・追加	～H8. 2. 23	～H8. 2. 23
	” 変更・取消	～H8. 3. 29	～H8. 3. 29
	H8年度への継続	H8. 2. 1～H8. 3. 21	H8. 2. 1～H8. 3. 21
H8年度新規・追加	H8. 3. 25～	H8. 4. 1～	
	” 変更・取消	H8. 4. 1～	H8. 4. 1～

<注>平成8年度への継続から東北大学センターを所属センターとする場合は、利用者からの計算機利用
取り消しの申し出がない限り、自動継続となります。

なお、詳しくは各センターのセンターニュースを御覧ください。

(共同利用掛 内線2532)

3. SSL II / VP 一部障害のお知らせ

VP2600/10 上の科学用サブルーチンライブラリ SSL II/VP のサブルーチンに一部障害があることが判明しました。障害修正は1996年1月8日(月)に修正済みですが、それ以前に下記のサブルーチンを含む自分用のロードモジュール・実行ファイルを作成された方は、再作成をする必要がありますのでご注意ください。

サブルーチン名

DLUIV

サブルーチンの機能

LU 分解された行列の逆行列を求める倍精度サブルーチン

障害内容

行列の次数が2051以上の場合、精度が劣化する場合がある

影響範囲

VP2600/10(MSP, UXP)

なお、連立1次方程式の解を求める場合は、DLUIVによる逆行列の計算より、LU分解にもとづくサブルーチンDVLAXを直接使う方が、計算量・精度の面からはるかに効率的です。

(ライブラリ室 内線2509)

e-mail : f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp

4. MHS (MSPのMAIL/NEWSリーダ)の設定について

新汎用システムへの移行に伴いMSPのニュースサービスを廃止しましたが、MHSコマンドのラインモードを使用される場合に、従来の設定ファイル FINES.MAILRC を使用すると NEWS のパラメータが表示されますので、FINES.MAILRC の変更をお願いいたします。

変更内容は、FINES.MAILRC の SET -FINES 行に MODULE(MAIL) パラメータを追加するだけです。

```
SET -FINES(EDITOR(P) SYSPRINT(I))
      ↓
SET -FINES(EDITOR(P) SYSPRINT(I) MODULE(MAIL))
```

なお、個人用の設定をされていない場合は、FINES.MAILRC を消去するだけで結構です。

(ネットワーク室 内線 2543)

5. データ通信専用交換機 PACX の廃止について

データ通信専用交換機PACXは1983年3月22日に運用開始して以来、13年間の長期にわたって、大型計算機センターを利用するためのデータ交換サービスを提供してきましたが、保守不能となりましたので1996年3月末日をもってサービスを廃止することを予定しています。今後は学内LANもしくは電話交換回線経由での利用をお願いします。なお、サービス廃止に伴い、支障のある方は、ネットワーク掛にご相談ください。

(ネットワーク掛 内線2543)

6. 平成8年度(前期)ライブラリプログラム開発計画募集のお知らせ

ライブラリプログラム開発計画募集要領(後述)に基づき、標記開発計画を下記のとおり募集します。多数の応募を歓迎致します。なお、後期分に関しては、センターが繁忙期に入ることから、多数の長大ジョブの実行が必要であると考えられる場合は、原則として来年前期に申請することをお願いします。

記

1. 応募資格 本センター利用有資格者
2. 応募締切 平成8年2月29日(木)
3. 応募手続 所定の申請書に必要事項を記入の上、連絡先まで提出する。
-- 申請書および募集要領は、ライブラリ室に用意してありますので、電話、メール等で請求して下さい。

-- 電子メールによる申請も可能です。下記 e-mail アドレスまで連絡をお願いします。折り返し募集要項、申請書の FORMAT をお送りします。

連絡先 : sakai@cc.kyushu-u.ac.jp
研究開発部・境 理恵子 宛
TEL : 092-641-1101(2507)

4. 対象課題
- a) 広く各分野で使われる可能性のあるプログラムの開発.
 - b) ある専門分野に限られるが、その分野では広く使われる可能性のあるプログラムの開発.

なお、開発されたプログラムは、なるべく早い時期にセンターのライブラリプログラムとして登録および公開するものとしますが、これら開発に関する事項の詳細については、次項に示す募集要領を参照してください。

ライブラリプログラム開発計画募集要領

1. 対象となる課題

- a) 広く各分野で使われる可能性のあるプログラムの開発.
- b) ある専門分野に限られるが、その分野では広く使われる可能性のあるプログラムの開発.

ただし、次のような課題については原則として認めない。

- i) 一般的な手法が確立されていなくて、研究的性格の強い課題.
- ii) 他センター等のプログラムの書替え・移植において、その作業が極めて容易であると考えられる課題.

2. 公募は年2回（前期、後期）とする。申請された課題は、締切の翌月のプログラムライブラリ委員会（以下、委員会）で審査する。ただし、開発に際し、多数の長大ジョブの実行が必要であると考えられる場合は、原則として前期に申請し、繁忙期に入る前（11月位）までに開発を終了するものとする。

前期締切：2月末日（開発開始は 4月1日予定）

後期締切：8月末日（開発開始は10月1日予定）

採用された課題は、センターニュースで広報する。

3. 開発者の義務

- i) 開発終了後、早い時期にライブラリプログラムとして登録および公開するものとする。
- ii) 利用者のための「利用の手引き」を作成する。これを終了報告書として委員会で審議する。
- iii) 開発したプログラムの概要あるいはその使用法をセンター広報に掲載する。

4. 開発に係る経費等

- i) 採用された課題に対して、ライブラリ開発用の登録番号を割当て、それに係る計算機利用負担金は、センターで負担するものとする。計算機利用負担金の限度額は、申請時の

計算時間により別に定める。

- ii) 計算機利用負担金以外で開発に必要な旅費、雑費等は、この開発計画による負担の対象とはしないので留意すること。

5. 開発作業

- i) ライブラリ開発は年度毎（4月～翌年3月）とする。開発継続の場合には、十分な資料とともに継続申請書を提出する。
- ii) 開発継続の場合にも、完成した範囲内で登録手続きをとることが望ましい。
- iii) 同一課題での継続は、原則として3年までとする。

6. その他

- i) 申請書に不明な個所があったり、申請計算時間が過大であると思われる場合や、開発経過が不首尾であると考えられる場合は、委員会にて口頭説明を求めることがある。
- ii) サブルーチンまたは関数副プログラムのライブラリの場合、既に登録してあるものと呼び出し名が同一にならないように注意すること。
- iii) オンラインマニュアル（計算機に格納され利用可能なマニュアル）を用意することが望ましい。
- iv) 予算額の上限は100万とする。

（ライブラリ室 内線2509）

e-mail:f70029a@kyu-cc.cc.kyushu-u.ac.jp